

山武市の公共交通について

(1) 市民意見交換会の開催

3つのイメージ案について、市民の意向を把握し、今後の具体的な導入計画案作成に反映させるため、「山武市の今後の公共交通に関する市民意見交換会」を開催した。

開催状況は次のとおりであり、総勢 62 名の参加を得、予定時間をオーバーする地区もあり、活発な意見交換がなされた。

表 市民意見交換会の開催状況

| 地区 | 日時 | 場 所 | 参加者 |
|------|-------------------------|----------------------|-----|
| 山武地区 | 1月17日(土) 10:30~12:00 | さんぶの森中央会館 視聴覚室 | 25名 |
| 成東地区 | 1月17日(土) 14:00~15:30 | 山武市役所 大会議室 | 15名 |
| 蓮沼地区 | 1月18日(日) 10:30~12:00 | 蓮沼ｽﾍﾟｰﾌﾞﾗﾞﾝｸﾞ 会議室 | 5名 |
| 松尾地区 | 1月18日(日) 14:00~15:30 | 松尾ふれあい館 農事研修室 | 17名 |
| 合計 | | | 62名 |

表 市民意見交換会のプログラム

| 議事 | 予定時間 |
|---------------------------|------|
| 山武市挨拶 | |
| 資料説明(公共交通の現状について) | 15分 |
| 質疑応答 | 10分 |
| 資料説明(新たな公共交通体系のイメージ案について) | 25分 |
| 意見交換 | 45分 |
| 山武市挨拶 | |

(2) 市民意見交換会での主な意見

① 山武地区での意見

○ 既存公共交通に対する意見

- ・教習所バス、山武巡回バスは、お年寄りや成東病院へ行く方の利用が多いので継続して欲しい。
- ・山武巡回バスは、金曜日も元気館から運行して欲しい、また日曜日にも運行して欲しい。

○ コミュニティバスによるイメージ案に対する意見

- ・高齢者は大きな通りしか走っていないとバス停留所まで行くことが不可能であるため、きめ細かく運行して欲しい。
- ・コミュニティバスから基幹バスに乗り継いだ場合に料金があまり高くないで欲しい。
- ・基幹バスの運行ルートは出張所から市役所、成東病院となっているが、もう少し延伸していける場所を増やして欲しい。
- ・フリー乗降区間をできるだけ多くして欲しい。
- ・今の巡回バスは、電車との乗り継ぎが悪いので、駅で10分くらいの待ち時間があると電車との乗り継ぎがしやすい。

○ 乗合タクシーによるイメージ案に対する意見

- ・松尾の山室地区は、成東の病院へ行くのに不便である。
- ・教習所バスは、“病院に行くのに時間がかかる”、“バス停まで行くのが苦だ”という意見を聞くので、乗合タクシーはすごく良い案だと思う。乗っても乗らなくてもグルグル回っているバスより無駄が無い。
- ・障害のある方や具合の悪い方には、乗合タクシーが良い。
- ・乗合タクシーは利用者の自宅を回るため時間がかかるし、また、高額で煩雑な料金設定となることが考えられるので考え直した方が良い。
- ・乗合タクシーの料金は、距離に応じて変わるのか、一律なのか。

○ 連携型によるイメージ案に対する意見

- ・公共交通を利用できないと生きる術がない方がいるのも事実であり、そういう方が利用出来るシステムを作るべきである。また連携型システムで、山武市内をすべて交流出来るような交通を作って頂きたい。
- ・連携型でも、山武地区から直接松尾地区に行けるようにして欲しい。

○ その他の意見

- ・地域性を考えると、ほとんど移動は自家用車であるため、財政に負担が掛かり中止するといったことの無い様、派手にやらず身の丈にあった対応の仕方にして頂きたい。
- ・利用する側も最低限の負担は必要かと思う。また、市の税収だけでなく他県他市からお金を入れるということを考え、もう少し外から利用することも考えてはどうか。

- ・全国から山武市に見学に来るような交通機関にして欲しい。

② 成東地区での意見

○ 既存公共交通に対する意見

- ・成東に越してきて、免許を持たなくて不便な思いをし、教習所バスが走って本当に助かっているので継続して欲しい。
- ・元気館は皆さん良く利用しているが、帰りが非常に不便である。

○ コミュニティバスによるイメージ案に対する意見

- ・富士見台・愛宕台・南郷・緑海地区は公共交通が運行されていないため、コミュニティバスを導入して欲しい。
- ・各案の中で運賃が最も安く、導入経費も最も安く、既存の交通機関への影響も最も少ないコミュニティバスがいい。
- ・財政のために100円、200円とか運賃を支払うことも仕方ないと思っている。平等に走るコミュニティバスが欲しい。
- ・バス停以外の途中で自由乗降できるようにして欲しい。
- ・バスは家の近くにバス路線が通っていて、スッとそれを利用するというような感覚だと思うが、山武市という広域地域では、そうはいかない。イメージだと山武市内は自由に行き来が出来るということだが、実際はそういうわけにはいかないのではないかな。

○ 乗合タクシーによるイメージ案に対する意見

- ・乗合タクシーは、市全体をカバーすると言う意味で、一番利便性が高い。ただ、料金が非常に高ければ利用出来ないということもある。

○ 連携型によるイメージ案に対する意見

- ・特になし

○ その他の意見

- ・利用度は少ないが、文化施設へ行く場合など、地域外に行ける足が無い。地域外へ行く場合のアクセスの問題をどこまで解消して頂けるか。
- ・既存の各交通機関がどこまで合意に達するのか。見通しがないと今のイメージの企画立案は難しいのではないかな。
- ・どの案でも、きちんと周知をしないと稼働率は上がらないと思う。
- ・利用するお客さんの数で、おのずから輸送する手段の方法は決まると思う、愛宕台、富士見台の問題は、例えば頂上までエレベーターを作れば、バスを投入しなくても済む。

③ 蓮沼地区での意見

○ 既存公共交通に対する意見

- ・蓮沼循環バスの利用啓発が足りないのではないか。

○ コミュニティバスによるイメージ案に対する意見

- ・特になし

○ 乗合タクシーによるイメージ案に対する意見

- ・特になし

○ 連携型によるイメージ案に対する意見

- ・特になし

○ その他の意見

- ・蓮沼の端の方からでも病院に行ける様にお考え頂きたい。
- ・駅を利用する人が多いと思う。駅まで行ければ便利だと思う。
- ・松尾や成東、山武のサークルなどに活発に参加してみたいと思うが、自分で行けない場合は中々参加出来ない。そういった所にも行ける様にして頂きたい。
- ・蓮沼は交通の便が悪く、高齢者も軽トラを運転している。私の母親も80歳を過ぎているが、軽トラに乗っている。そんな現状である。

④ 松尾地区での意見

○ 既存公共交通に対する意見

- ・八田は本当にバスが無いが、良い道路があるのだから公共交通を導入して欲しい。

○ コミュニティバスによるイメージ案に対する意見

- ・松尾地区から成東駅に直接行けるようにするととても便利になる。
- ・運賃が安いコミュニティバスで、学生が帰りに駅からバスで帰れるようにして欲しい。

○ 乗合タクシーによるイメージ案に対する意見

- ・最も費用が掛かるとあるが、費用が掛からない制度を研究し、乗合タクシーを導入して頂き、定額で利用出来る制度を作って頂きたい。
- ・高齢者が利用する場合は、バス停まで行くよりも、自宅まで迎えに来るこのシステムの方が便利だと思う。
- ・市役所までドア to ドアで行ける乗合タクシーを早く実現して貰いたい。
- ・運賃について、乗合タクシーは料金が一番高くなるという説明だが、一定の料金なのか、全額を乗った人数で割るのかイメージがわからない。
- ・70歳以上で具合の悪い人は割引になるタクシーが出来れば良いと思っている。

○ 連携型によるイメージ案に対する意見

- ・乗り継ぎのイメージでは、自分の地域から地区外へ行く場合は2回3回と乗り継ぐ必要

があるが、運賃はどうなるのか。

- ・イメージ1、3の基幹バスは、1時間に数本運行されるとあるが、電車が1時間に数本あるのに必要があるのか。

○ その他の意見

- ・高齢になると低額の交通費でも負担になる。往復料金にして、出来れば200円くらいに収めて頂きたい。
- ・松尾駅に行く芝山町のバスを、松尾の住民が利用出来る様にして貰いたい。
- ・体の悪い人が病院に行くことを念頭において考えて欲しい。
- ・運転免許を持たない方に恩恵があるような交通網を作って頂きたい。
- ・市の財政の中で、空港対策助成金の扱いは、特別に考慮して頂きたい。犠牲ばかり受けて、何の利益も無いという松尾の住民の声を加味して頂きたい。

山武市地域公共交通戦略計画の方針と今後の検討の進め方

(1) 山武市地域公共交通戦略計画の方針

地域公共交通戦略計画の方針を決定するにあたり、山武市が目指す将来都市像を見据えた上で、市民ニーズを的確に反映させた戦略計画とすることが重要である。

アンケート調査や市民意見交換会で出された市民の希望する新たな公共交通の導入形態についてはさまざまな要望があり、大きく意見が分かれている。

しかし、新たな公共交通サービスに対するニーズとしては、①「**ドア to ドアに近い移動性を備えた公共交通サービスの提供**」、②「**公共交通不便地域での公共交通サービスの提供**」、③「**低価格な運賃による公共交通サービスの提供**」が中心となっている。

イメージ1（コミュニティバス）は、定時性や速達性が高く、都市計画マスタープラン（現在策定中）で位置づけられている地域交流拠点間を大量輸送が可能な基幹バスにより効率的に結ぶことが可能となるが、地域外への移動には乗り継ぎが必要となることに加え、決められたルートのみを運行するため①と②のニーズに対応することは困難である。

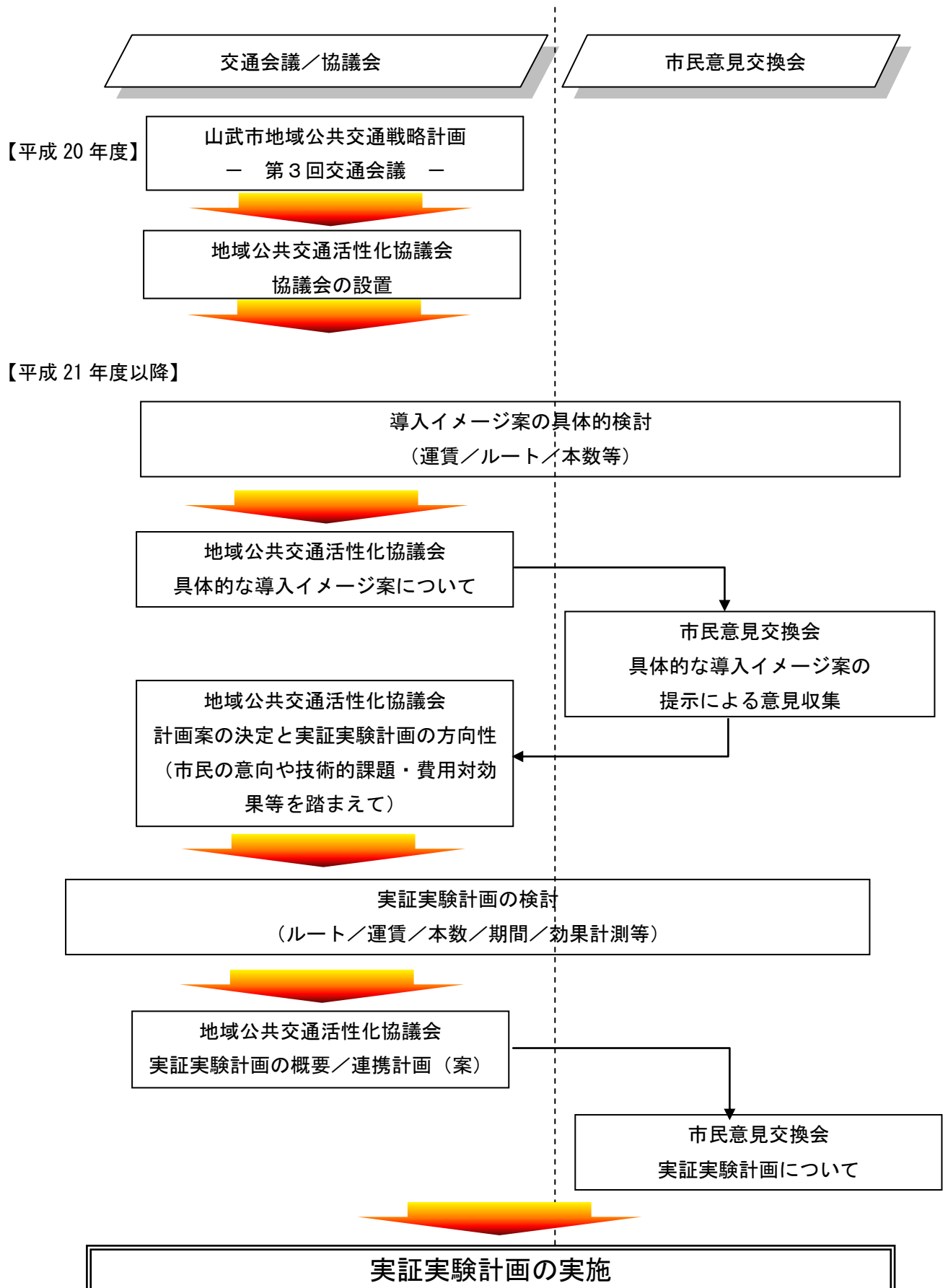
一方、イメージ2（乗合タクシー）は、乗り継ぎの必要がなく3案の中で最も利便性の高い交通サービスを提供できるため、①と②のニーズに対応することが可能であるが、利便性の高い交通サービスを提供するために利用者負担の増加を招くことが想定されることから、③のニーズに対応することは困難である。また、地域交流拠点への人の流れを促すことも困難であり、地域交流拠点の育成・活性化に資することは難しいと考えられる。

イメージ3（連携型）は、地域外への移動については乗り継ぎが必要となる分、イメージ2（乗合タクシー）に対して利便性は低下するが、地域内の移動については、利便性の高い交通サービスの提供が可能であり、①と②のニーズに対応することが可能であることに加え、基幹バスで地域交流拠点間を結ぶことにより、効率的な大量輸送が可能となる。また、利用者負担についてもイメージ2（乗合タクシー）より低価格に設定できると考えられる。

以上のことを踏まえ、山武市の新しい公共交通システムの導入イメージとしては、利便性が最も高い交通サービスを提供できる**イメージ2（乗合タクシー）**、または、地域内の移動については利便性の高い交通サービスを提供でき、都市計画マスタープラン（現在策定中）で位置付けられた地域交流拠点の育成・活性化にも資する**イメージ3（連携型）**が適していると考えられるが、乗り継ぎ抵抗を軽減するために商工会などの各種団体と連携を図りながら、地域交流拠点における魅力ある待合環境を創出することが不可欠となる。

しかしながら、市民意見交換会では、今回提示したイメージ案だけでは具体的な検討が困難であるとの意見も多かったことから、費用対効果の観点から具体的なルート、運賃、運行本数などについて十分に検討した上で、再度、市民意見交換会等を通じて市民ニーズの更なる把握に努めることとする。

(2) 今後のスケジュール (案)



※ 協議会・意見交換会は必要に応じて複数回実施する。